

編集・発行 / 病院経営管理部総務課
TEL 0229-23-3311(内線 3503)
〒989-6183
大崎市古川穂波三丁目8番1号
Web <http://www.h-osaki.jp>
E-Mail soumu-och@h-osaki.jp

ご意見・ご感想は上記までお待ちしております。

市民病院だより

大崎市民病院理念・基本方針

【病院理念】

～市民が安心できる医療の提供～

【基本方針】

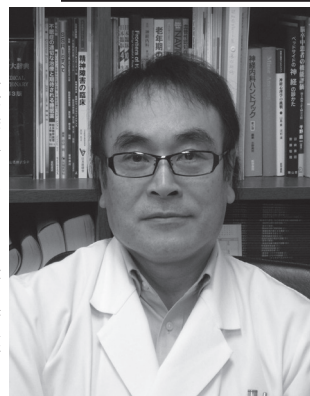
市民に適切な医療の提供
地域に貢献する医療の構築
健全経営の確保

認知症は高血圧や糖尿病などの生活習慣病が発病に関係する事が判ってきてはおりますが、高齢者が圧倒的に多いこともあり治療に内科診療は欠かせません。

当診療所は認知症のエキスパートである高齢者高次脳医学寄附講座のご協力のもと、認知症の診断からその後の治

療まで安心して受けられるように、内科と一体化した認知症治療を行っています。さらに、患者さんの体調が安定し規則正しい生活ができるように、ご家族の介護負担を軽減し介護サービスの積極的な利用してもらうために、様々な職種と連携しながらきめ細かい対応に努めております。

今や日本の認知症患者数は400万人を超え、認知症の予備軍、約400万人を加えると、高齢者の4人に1人が認知症もしくはその予備軍であり、極めて身近な病気となりました。



田尻診療所長

山口 智

ごあいさつ



今後とも患者さんとご家族に寄り添い、地域の診療所として力を尽くしていく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



健康管理センター所長

木村 啓二

当院の健診事業は平成11年度に旧古川市立病院でスタートし、平成13年度に南病棟が増築された際、その1階に健診センターと改名し、整備されました。その後、平成26年度の本院移転に伴い、独立した保険医療機関として「大崎市民病院健康管理センター」という現在の名称で登録されています。

平成27年度から隣接の旧救命救急センター1階(夜間急患センター併設)と2階を改装し移転しました。築20年の建物ですが、大規模なリフォームにより全国的にも珍しいほど広く明るく清潔な環境が整えられています。

ソフト面でも正確で分かりやすい検査判定はもちろん、待ち時間の短縮、検査結果通

知までの期間短縮など、総勢20名のスタッフが日々努力しています。幸いにもアンケートでは約95%の利用者から「とても良い」「良い」との評価をいただいております。

「心身ともに健康で楽しく長生きできること」が多くの人の理想だと思います。そのためには、がんを早期発見して治療させること、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病を未然に防ぐことです。もし発病したとしても、軽症のうちに発見して良好な管理を保ち、心臓病や脳卒中などの重大な合併症を併発しないようにすることが大切です。そのお手伝いをするのが当センターの使命です。

皆さまにはご自身、ご家族のために積極的に当センターをご利用していただきたいと考えております。

平成27年度の大崎市病院事業会計決算の概要についてお知らせします。

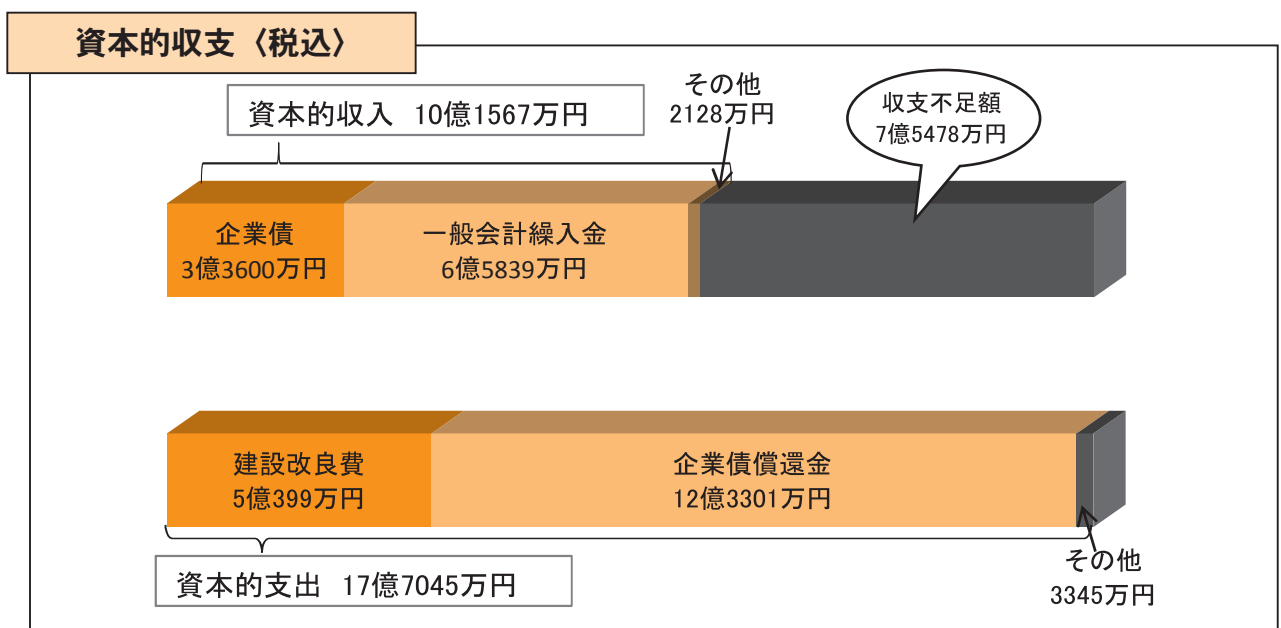
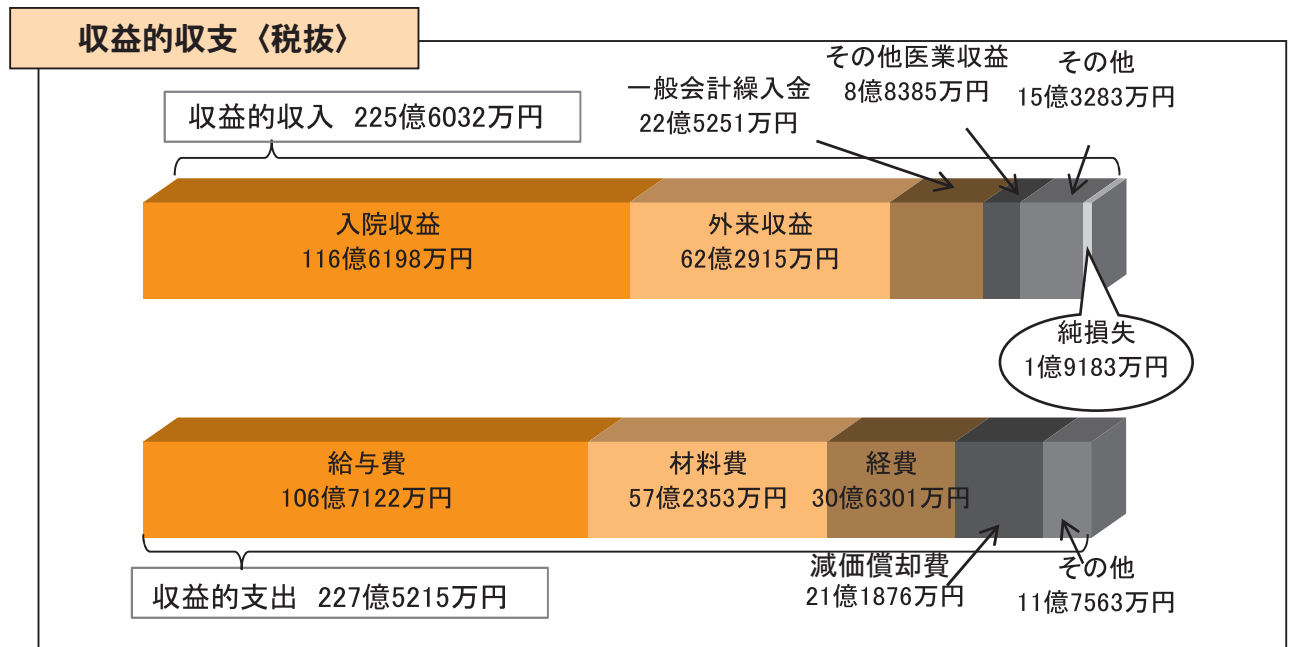
年間入院患者数は、212,366人で前年度より14,838人増加し、年間外来患者数は、364,748人で前年度より9,341人増加しました。

経営状況については、病院事業収益は225億6,032万円、病院事業費用は227億5,215万円で差引1億9,183万円の赤字決算となりました。

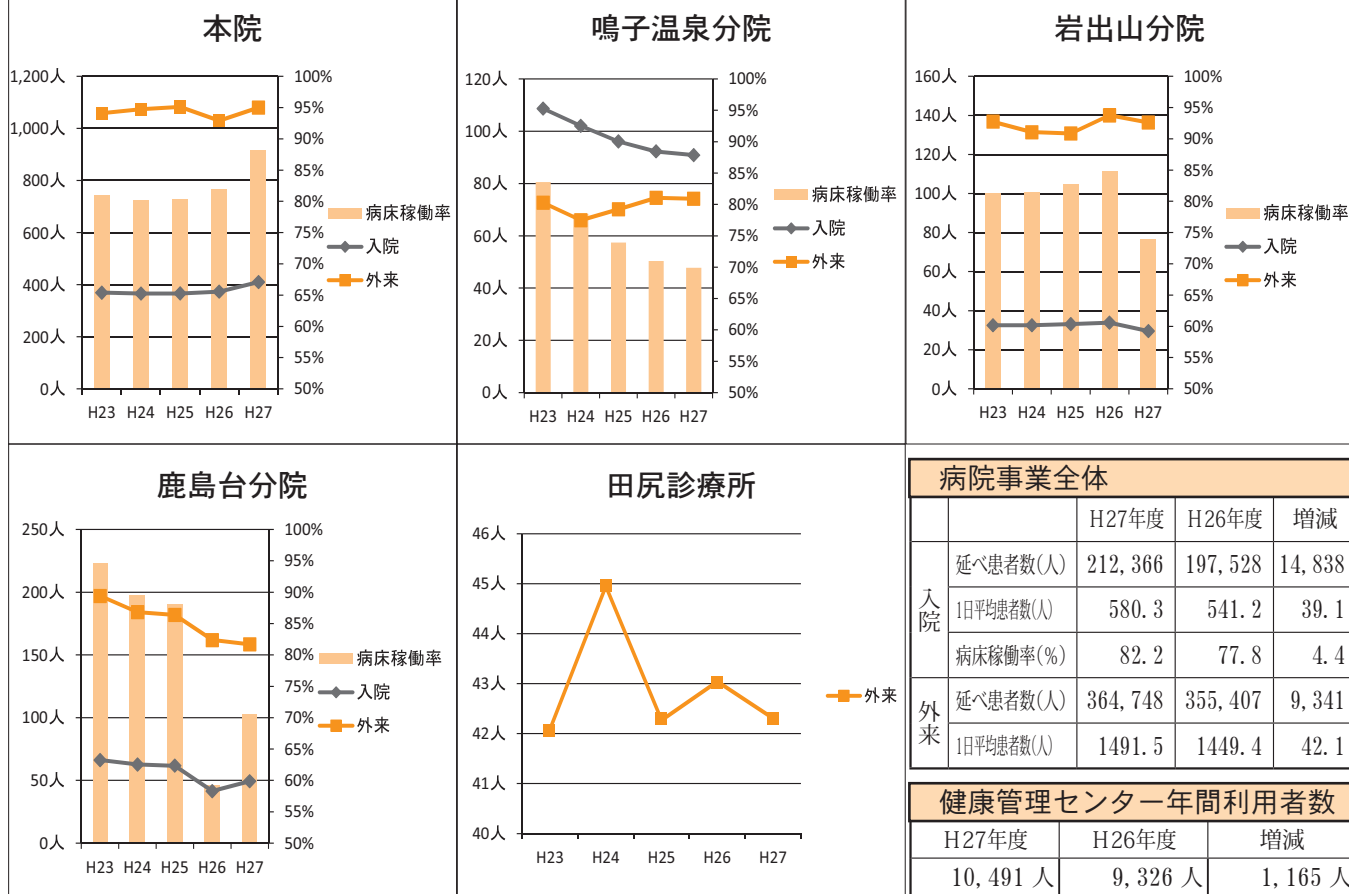
前年度は、本院移転に伴い診療制限を実施したため患者数に落ち込みが見られ、さらに、移転に伴う経費や地方公営企業会計基準の改正による特殊経費が発生しました。

今年度は、新本院が開院して2年が経ち、収益では化学療法や手術件数の増加、新たな施設基準の取得などによる増加がみられました。一方の費用では、新本院の建物や開院時に整備した医療機器に係る減価償却費の増加や医療スタッフ増員に伴う給与費の増加など経常的な費用が増加しています。分院及び診療所においては、地域の人口減少等による患者数の減少に伴い、病床稼働率も低下しています。

今後は平成30年度の本院500床稼働に向け、医療スタッフの確保等体制整備を進めながら、本院・分院・診療所が地域におけるそれぞれの役割と機能の分担を図り、医療の質の向上と経営改善に全力で努めます。



1 日平均患者数及び病床稼働率の推移



用語解説

【収益的収支】

医療サービスの提供やこれに付随する事業など、病院の1年間の経営活動によって生じた収益を「収益的収入」、また、これらの収益を生むために要した費用を「収益的支出」といいます。「収益的収支」とはその差引額のこと、1年間の病院の経営成績を表します。(収入が支出を上回れば「黒字」、下回れば「赤字」です。)

【資本的収支】

医療機器の購入や施設整備に要する支出、また、医療機器購入等のために借入れした企業債の元金返済に要する支出を「資本的支出」、この財源となる企業債や一般会計からの補助金を「資本的収入」といいます。

【病床稼働率】

病院のベッドがどの程度効率的に稼働しているかを示す数字です。100%に近いほど空いているベッドが無い状態で利用されていることになります。病院の経営の質を示す指標として活用されます。

問：経営企画課財政係
0229-23-3311 (内線 3706)

オストメイト（人工肛門造設者）患者会設立のお知らせ

このたび、オストメイト患者会が設立され、当院は事務局として協力させていただいています。
第1回総会は10月15日（土）に大崎市民病院本院で行われました。
今後も行事を予定していますので、お気軽にご参加ください。

問：代表 斎藤利春 (080-1828-3344)
病院事務局：地域医療連携室 0229-23-3311 (内線 1201)

病院情報の公表について

「病院情報の公表」は、診療データ（DPCデータ）から全国統一の指標を作成し、市民の皆さんに情報公開を進めることにより、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくことを目的としています。
当院では、10月1日からウェブ(<http://www.h-osaki.jp>)で公表していますので、ご覧ください。

問：医事課医事係
0229-23-3311 (内線 1113)

大崎市民病院

母乳育児支援事業

「赤ちゃんにやさしい病院」を目指して

本院では、赤ちゃんが社会

の中で健やかに生活できるこ

とを願い、お母さんが安心して

育児ができるように支援して

います。外来や産科・婦人科・

小児科病棟スタッフの連携は

もちろんのこと、院内に「母乳

育児推進委員会」と「母乳育児

を進めるチーム」を設置し、院

内の他職種職員及び大崎市役

所の保健師で構成されたメン

バーを中心にして活動してい

ます。主な取り組みについて

は、次のとおりです。

①切れ目のない母乳育児支援

(外来母乳育児指導・分娩後

の早期母子接触・退院後1週

間後健診)

②本院の母乳育児支援に関す

る基本理念の制定

③母乳育児支援通信の発行

④研修会・ワークショップの開催

⑤院外主催の研修会・ワーク

ショップ参加、演題発表など

「どうして母乳育児が大切な

の？」と疑問に思う方がいると

思いますが、母乳育児にはたく

さんのメリットがあります。

○栄養満点

○免疫物質たっぷり

○あごの発育を促す

○母子の絆が深まる

○愛着形成が確立される

○お母さんの体を守る

○産後の回復が早い

●私たちに母子への願いがあ

ります

①人間として母乳育児をする

ことは自然な行為と捉え、育

児の一環として「母乳」を取り

入れてほしい

②どのようにしたら母乳育児

がスムーズにスタートできる

かをお知らせしたい

③母乳育児を通して健全な赤

ちゃんを育てたい

④母乳育児を通して母子の絆

を深め、愛着形成を確立し母

子関係を最良のものにしたい

⑤親子関係を確立し虐待を減

らしたい

⑥母乳育児ができない人にも

やさしい支援を提供したい

そんな思いから始まった母

乳育児支援です。その先に赤

ちゃんにやさしい病院(BFH)

の認定があるのです。

●本院では「赤ちゃんにやさ

しい病院(Baby Friendly Hospi

tal)を目指しています。

「赤ちゃんにやさしい病院」

とは、適切な新生児ケアを推進

するため、長期にわたり母乳

育児に積極的に取り組み、WH

O・ユニセフの認定審査に通過

した施設のことです。



○ワークショップのご案内○

平成29年2月に当院主催の

母乳育児ワークショップを予定

しています。詳細は、当院ホー

ムページに掲載しますので、お

気軽にお問い合わせください。

問.. 情報管理課診療支援係

0229-23-33311

(内線3919)

人間ドックを受けてみませんか

多くの皆さんは、職場や地

域で健康診断を受診されてい

ると思います。では、健康診断

と人間ドックは何が違うので

しょうか。どちらも「現在の健

康状態を明らかにし、健康異常

の早期発見と健康維持」を目的

に行いますが、健康診断に比べ

人間ドックはより総合的に精

密な検査が受けられます。その

ため健康保険の対象外となる

ことがあります。

また、本院の専門医が検査

や診断に関わっており、半日ド

ックで標準の検査にオプショ

ン検査を追加しても午前中で

終了する体制となっています。

10月1日からは、健康診断

や人間ドックを受け、精密検査

が必要と判断された方には二

次健診をご案内し、より詳しい

検査を実施しています(火・金

曜日)。

いつまでも元気で健康な生

活を送るため人間ドックを受

けてみませんか。詳しい内容・

料金については、お問い合わせ

ください。

問.. 健康管理センター管理課

0229-23-3471

半日ドックの流れ (午前中で終了します)

身体測定・問診
尿・便・血液検査

画像・生理検査

胸部X線検査
腹部エコー検査
食道胃十二指腸透視検査
心電図検査など

オプション検査

希望の検査を追加できます

腫瘍マーカー検査
脳MRI検査
胃カメラ検査
子宮がん検査
乳がん検査など

追加料金が発生します

医師の診察

判定・結果通知

●主な健診料金 (平成28年10月1日現在)

健診コース名	料金
成人病ドック	34,200円
半日ドック	38,500円
婦人科セット(乳・子宮がん検査)	13,200円
脳ドック(MRI検査)	21,200円
腫瘍マーカー検査	8,800円
胃がんリスク検診(ABC検診)	5,900円

※料金は検査の組み合わせにより変わる事があります。

